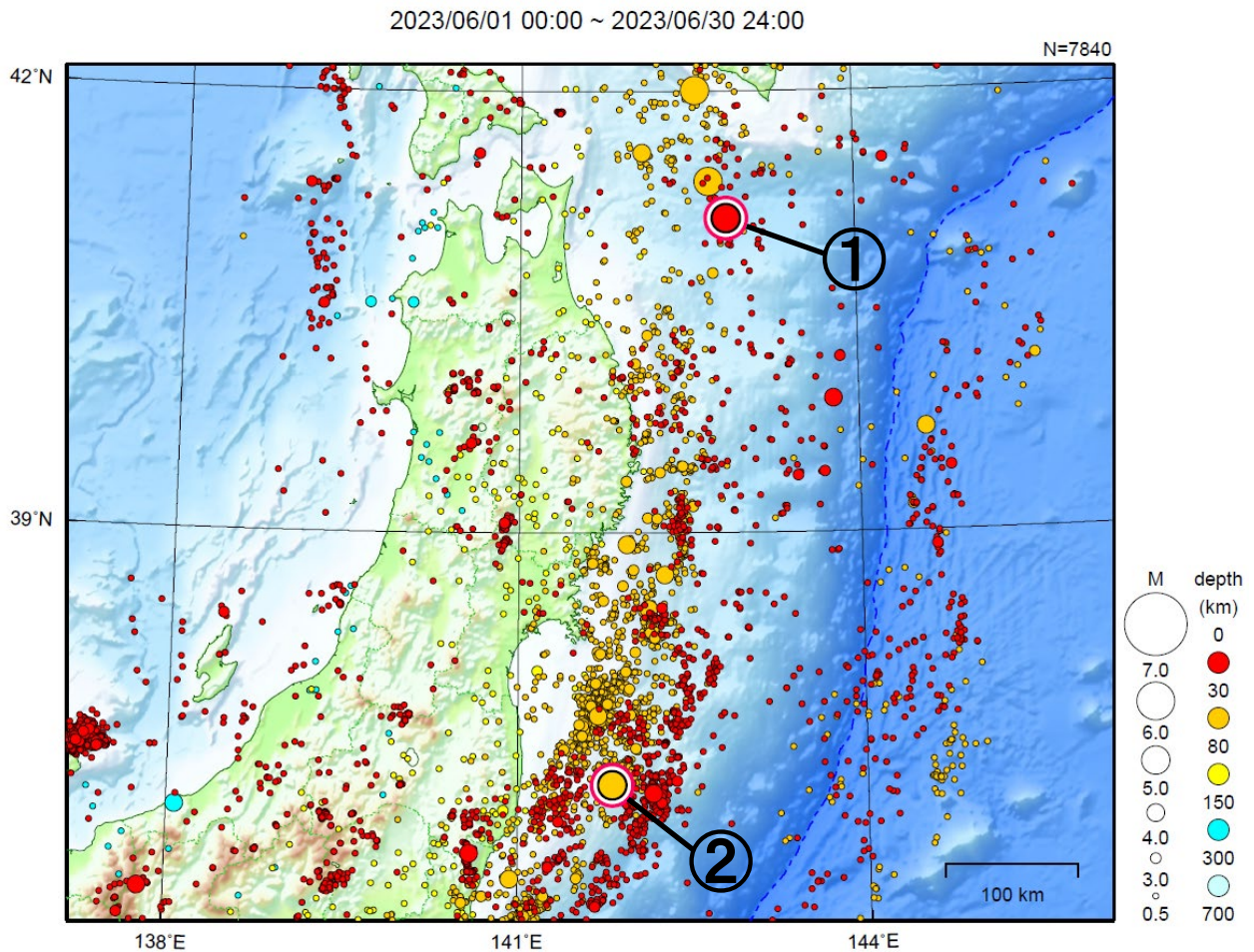


東北地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

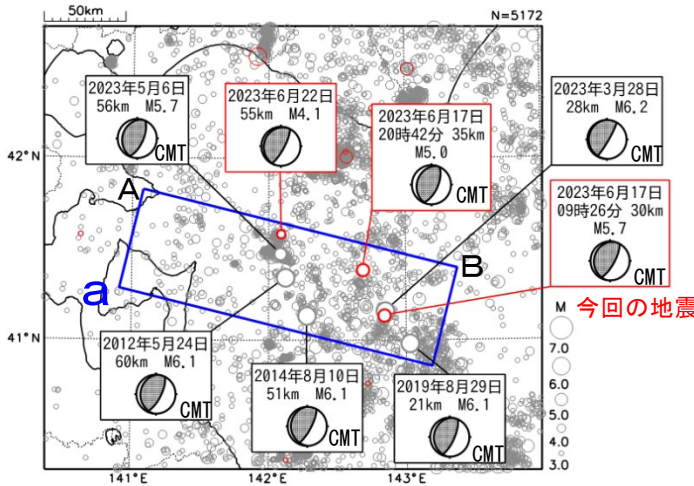
- ① 6月17日に青森県東方沖で M5.7 の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 6月24日に福島県沖で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

6月17日 青森県東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年6月30日、
深さ0～150km、M \geq 3.0)
2023年6月に発生した地震を赤色で表示

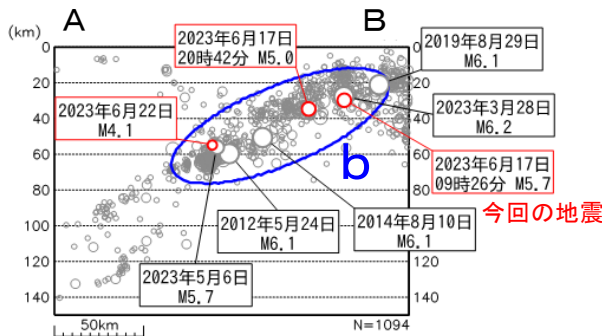


2023年6月17日09時26分に青森県東方沖の深さ30kmでM5.7の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

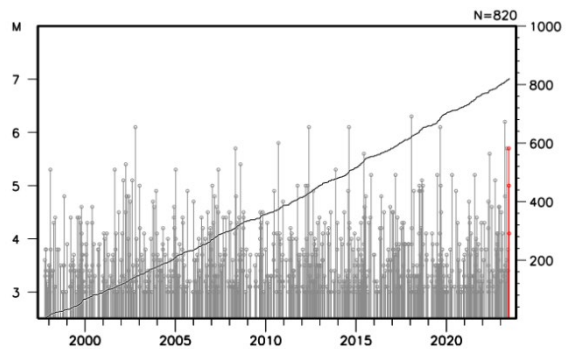
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2012年5月24日に発生したM6.1の地震 (最大震度5強) では、青森県で文教施設の一部破損 (ガラス破損など) 10箇所などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。この中には、「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」(M7.1、最大震度6) や「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5) も含まれている。

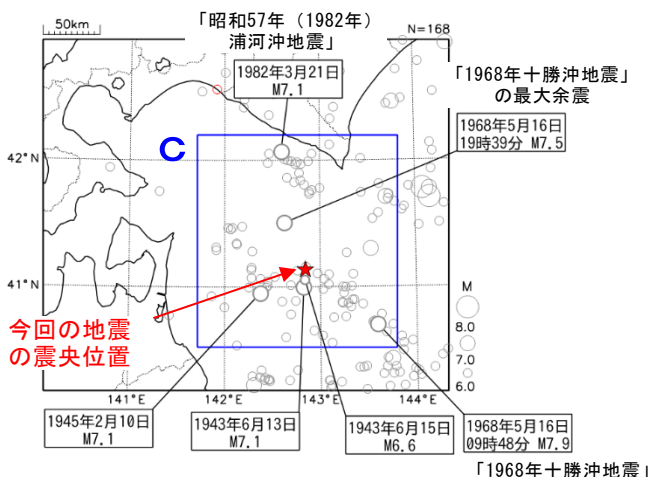
領域a内の断面図 (A-B投影)



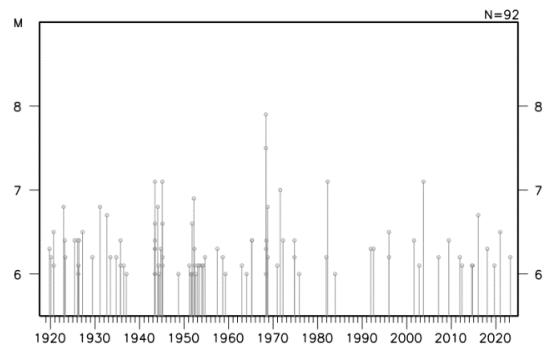
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年6月30日、
深さ0～150km、M \geq 6.0)



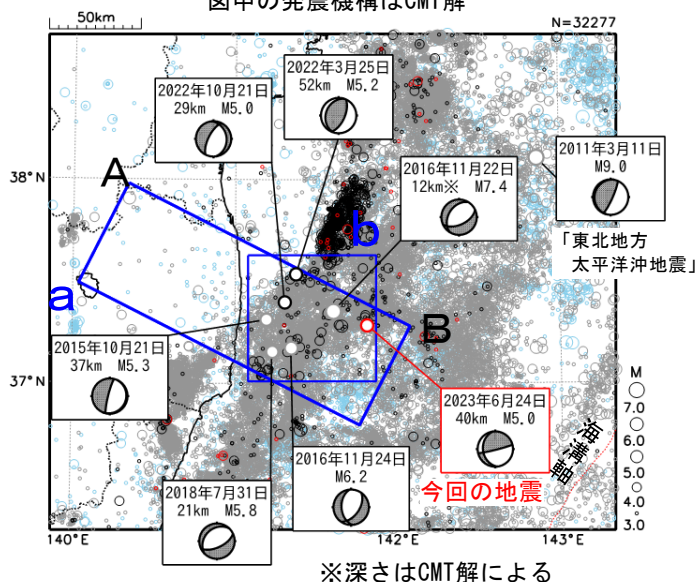
領域c内のM-T図



6月24日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
2022年3月16日以降に発生した地震を黒色、
2023年6月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



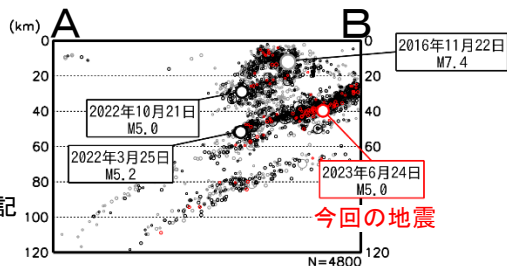
2023年6月24日09時58分に福島県沖の深さ40kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生前はM5.0以上の地震がしばしば発生していた。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M5.0以上の地震が度々発生している。

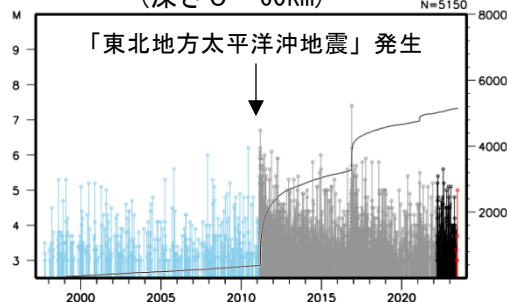
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「東北地方太平洋沖地震」の発生前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震(最大震度5)が発生し、宮城県花巻で113cm(全振幅)の津波を観測した。

※深さはCMT解による

領域a内の断面図
(A-B投影、2020年
9月1日～2023年6月
30日、 $M \geq 1.5$)
図中に2016年11月22日の
地震(M7.4)の震源を追記

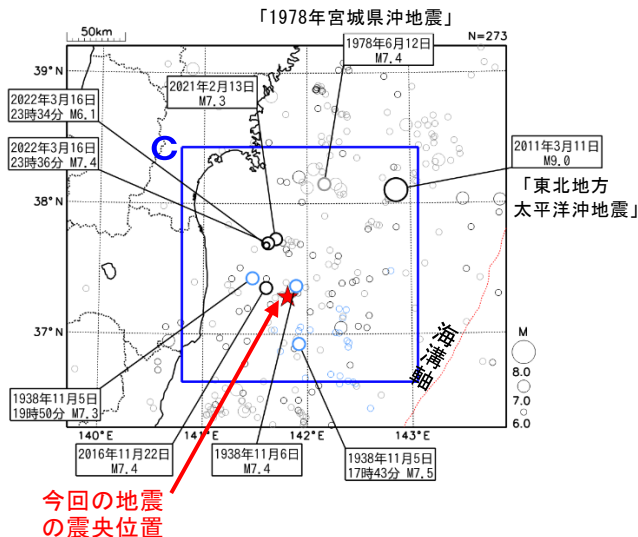


領域b内のM-T図及び回数積算図
(深さ0～60km)



震央分布図
(1919年1月1日～2023年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)

1938年11月5日～1938年11月30日の地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を黒色、
その他の期間を灰色で表示



領域c内のM-T図

